

★ 2018年9月15日(土)

～弦楽三重奏の響きを楽しむ秋の夕べ～ String Trio

9月15日(土)に、群馬県伊勢崎市出身ということからご縁が生まれご出演が決定したNHK交響楽団唯一の女性コントラバス奏者の矢内 陽子さん、同じくNHK交響楽団ヴィオラ奏者の飛澤 浩人さん、ソロやオーケストラでご活躍の中実穂さんの3名にお越しいただき「～弦楽三重奏の響きを楽しむ秋の夕べ～ String Trio」を開催いたしました。

第一部は三重奏によるA. アルブレヒツベルガー「ディベルティメント」で幕を開け、続いてヴィオラとコントラバスの二重奏でR. グリエール「組曲」などが演奏されました。L.V. ベートーヴェンの「二つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲」は本来チェロが弾くパートをコントラバスの矢内さんが担当し、非常に難易度が高く、とても聞き応えのある演奏でした。

第二部はC. ディッターズドルフ「ソナタ 変ホ長調」、M. ハイドン「ディヴェルティメント」、L. ホフマン「Trio OP.1 Nr.1」という古典派音楽の3曲を披露していただきました。

曲間には飛澤さんにヴィオラ、チェロ、コントラバスそれぞれの弦楽器の特徴や作曲家について解説していただき、クラシック音楽の世界への理解を深めることができました。



矢内 陽子さん



飛澤 浩人さん



中実穂さん